

第59回全国IE年次大会

IEが奏でる未来響創

～生産性改革を推進する

モノづくり・コトづくり・人づくり～

全体会議

2018年 7月24日(火)

事例発表(分科会)

2018年 7月25日(水)

現場研修会

2018年 7月26日(木)

パシフィコ横浜会議センター【最寄駅:みなとみらい駅】

7/24(火)

基調講演

デジタル化時代のものづくり

～IEと経済学の接点に関する再探訪～

東京大学大学院経済学研究科 教授
東京大学ものづくり経営研究センター長

藤本 隆宏 氏



特別講演

ピンチはチャンス!

グローバルで売れる酒づくりチャレンジの物語り

～杜氏の経験・勘を徹底的に数値化した酒づくりの標準化～

旭酒造(株) 会長

桜井 博志 氏

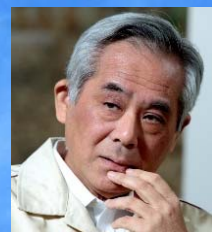


リフレッシュ
講 演

日本ウイスキー世界一への道

サントリースピリッツ(株) 名誉チーフブレンダー

輿水 精一 氏



■主催 東北インダストリアル・エンジニアリング協会／中部インダストリアル・エンジニアリング協会
関西インダストリアル・エンジニアリング協会／九州インダストリアル・エンジニアリング協会
日本インダストリアル・エンジニアリング協会(担当事務局)

■協賛 足利商工会議所／(一社)インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ／(一社)島根県経営者協会
(一社)中国経済連合会／(株)日刊工業新聞社／(一財)日本科学技術連盟／(公社)日本技術士会／(公社)日本経営工学会
(一社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／(公社)日本バリュー・エンジニアリング協会
(公社)日本プラントメンテナンス協会／(公社)日本包装技術協会／(一社)日本旅館協会
(公社)日本ロジスティクスシステム協会／(株)流通研究社／ロボット革命イニシアティブ協議会
北海道生産性本部／東北生産性本部／(一財)中部生産性本部／(公財)関西生産性本部／中国生産性本部
四国生産性本部／(公財)九州生産性本部／(公財)日本生産性本部／埼玉県生産性本部／千葉県生産性本部
神奈川県生産性本部／サービス産業生産性協議会

■後援 経済産業省／(公社)経済同友会

2018. 7. 18

IEが奏でる未来響創

～生産性改革を推進するモノづくり・コトづくり・人づくり～

人口減少社会を迎えるわが国では、働き方改革を進める点からも、様々な場面で「新たな生産性の向上」が求められています。また、グローバルに拡大していくマーケットにおいて、IoTの導入とビッグデータの有効活用などにもとない、事業環境は劇的に変化してきており、我々のモノづくり、コトづくりと、それを支える人づくりは、これらの変化に柔軟に、持続的に対応することが求められています。かつて、この生産性の向上を高い次元で実現してきたのが“IE”であったことを再確認し、これを基軸に新たなモノづくりに活用・展開・チャレンジしていくことが必要と考えます。

本大会では、このIEの活用・展開・チャレンジの場を4つの切り口に整理し、モノづくりに関わる「企業戦略」、プロセスやモノづくりを育む「人財力」、新たなワークスタイルや新技術を活かした「現場力」、そしてサービスなど製造分野以外へと「広がるIE」の活用の4つのセッションを用意いたしました。

全国IE協会から選りすぐった事例を通じて、それぞれに高い志と熱い意欲・情熱を持ち、果敢なチャレンジを推し進めてこられた企業の活動事例を共有していただき、未来に向けた「新たなチャレンジ・可能性」を追求（未来響創）して参ります。



また、業種、業界や産学の垣根を超えて、参加者相互に交流の輪を広げていただく場として、「産学連携」や「交流会」も用意いたしました。ぜひ、本大会にご参加いただき、「新たな生産性の向上」に取り組まれている皆様方の活動に展開・活用いただければ幸いです。

※IE (Industrial Engineering)

価値とムダを顕在化させ、最小資源でその価値を最大限に引き出そうとする、すなわち生産性改革へと導く見方・考え方であり、それを実現する技術のことです。

※未来響創

未来に向けみんなの知恵を結集し、ともに響き合いながら創造・スパイラルアップしていくことによって、モノづくり・コトづくり・人づくりの未来を切り開いていく、という意味の日本インダストリアル・エンジニアリング協会の造語です。

時間	内容
13:30~13:40	<p>【開会挨拶】 日本インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 日産自動車(株) 取締役 副社長 坂本 秀行</p> 
13:40~14:10	<p>【第47回「日本IE文献賞」表彰式】</p>
14:10~15:10	<p>【基調講演】 デジタル化時代のものづくり ～IEと経済学の接点に関する再探訪～</p> <p>東京大学大学院経済学研究科 教授 東京大学ものづくり経営研究センター長 藤本 隆宏 氏</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値は設計情報に宿り、ものづくりとは「良い設計の良い流れ」作りである ・設計情報にはテクノロジーとアーキテクチャの2面がある ・物的生産性、リードタイム、品質は、設計情報転写の密度・速度・精度で測れる <p>【略歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学経済学部卒 ・三菱総合研究所 ・ハーバード大学経営学博士 ・東京大学経済学部助教授を経て現職 ・東京大学ものづくり経営研究センター長 ・一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事 

時間	内容
15:30~16:30	<p>【特別講演】 ピンチはチャンス！グローバルで売れる酒づくりチャレンジの物語り ～杜氏の経験・勘を徹底的に数値化した酒づくりの標準化～</p> <p>旭酒造(株) 会長 桜井 博志 氏</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本酒「獺祭(だっさい)」が純米大吟醸販売量で日本一となった秘訣 ・ アメリカやヨーロッパなど、グローバル24ヶ国への輸出拡大化 ・ 逆境をチャンスに変えた成功体験 <p>【略歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1950年 山口県周東町の酒蔵の長男として生まれる ・ 1973年 松山商科大学経営学部卒業。西宮酒造(株)(日本盛)入社 ・ 1976年 同社退社、旭酒造(株)入社 ・ 1979年 同社退社、石材卸業・桜井商事設立 ・ 1984年 旭酒造(株)代表取締役就任 ・ 1988年 日本青年会議所玖西JC理事長 ・ 1990年 日本青年会議所山口ブロック協議会会長 同年「獺祭」発売 ・ 1999年 地ビールレストラン開店するも3か月で閉館 杜氏制度を廃止し社員による酒造りへ ・ 2014年 日経BP社「第13回 日本イノベーター大賞」優秀賞受賞 ・ 2015年 「世界に誇るべき ニッポンの100人。」Pen 2015年4/15号 ・ 2016年 第41回 経済界大賞 優秀経営者賞受賞 旭酒造(株)会長就任 
16:35~17:05	<p>【リフレッシュ講演】 「日本ウイスキー世界一への道」</p> <p>サントリースピリッツ(株) 名誉チーフブレンダー 輿水 精一 氏</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的な注目を集めるジャパニーズウイスキー ・ 25年間のダウントレンドからの脱出 ・ 世界的評価の背景にあるものとは？ <p>【略歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1949年 山梨県生まれ ・ 1973年 山梨大学工学部発酵生産学科卒業。サントリー(株)入社 ・ 1996年 ブレンダー室主席ブレンダー ・ 1999年 チーフブレンダー ・ 2014年 名誉チーフブレンダーとなり、現在に至る ・ 2015年 日本人初の「Hall of fame (ウイスキー殿堂)」 
17:05~17:10	<p>【次期開催地会長挨拶 (関西IE協会)】</p>
17:30~18:45	<p>【交流会 (情報交換会)】</p>



第58回
全国IE年次大会
講演会の様子
@福岡



第58回
全国IE年次大会
交流会の様子
@福岡

第1分科会「企業戦略に学ぶ」～持続する企業であるために～

市場ニーズ・価値観の多様化や技術革新の速さに対応し、新たなビジネスの創造や自らの強みを生かしたイノベーションによって企業価値を高め、生き残るための企業戦略が必要不可欠になっている。

この激変する環境下で成長し続ける企業からそのモノづくり・コトづくり・人づくりの取り組み、戦略を学ぶ。

<p>9:30～10:30</p>	<p>「リコーにおける環境経営の実践と進化」</p> <p>(株)リコー リコー環境事業開発センター 事業所長 事業開発本部 ES事業センター 所長 出口 裕一 氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と利益創出の同時実現を目指す全社的な取り組み ・新規環境事業創出に向けた取り組み ・環境事業センター開設への挑戦と実現、産学官連携活動
<p>10:45～11:45</p>	<p>「デジタルトランスフォーメーション時代の I o T・A I を活用したものづくり」～NECにおける取組み～</p> <p>日本電気(株) ものづくりソリューション本部 ものづくり戦略グループ 事業主幹 関 行秀 氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NECにおけるI o T・A I 実践事例 ・お客様との共創事例 ・ものづくりの提供価値拡大に向けて
<p>コーディネータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日産自動車九州(株) 工務部 生産計画課 主担 島田 寿一 氏 ◆ キューピー(株) 生産本部 生産技術部 生産技術企画チーム リーダー 降旗 幸太郎 氏
<p>11:45～13:00</p>	<p>昼食休憩</p>
<p>13:00～14:00</p>	<p>「国内生産への拘り」～PC国内生産における高付加価値の追求～</p> <p>(株)島根富士通 生産革新センター長 兼 製造統括部 プリント板製造部 部長 松元 省吾 氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT/I o Tを活用した変種変量への柔軟な対応 ・国内生産で培ったノウハウのビジネス化 ・国内生産を支える人づくり
<p>14:15～15:15</p>	<p>「I o T を活用した次世代生産モデルの確立」 ～熟練技能伝承の支援システム～</p> <p>ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター 生産システム革新グループリーダー／首席技師 高山 正範 氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイキン工業(株)における「I o T活用による次世代工場実現に向けた協創プロジェクト」 ・空調生産のキー技能である「ろう付け」作業のデジタル化と作業評価システムの開発 ・訓練期間の短縮とグローバル同一品質の実現
<p>15:30～16:30</p>	<p>「健康経営にコミット！ RIZAP流 プレゼンティズム解消法」</p> <p>RIZAP(株) 法人営業ユニットリーダー 中山 恵市 氏 / セミナー講師チーム リーダー 盛一 紗季 氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズにコミット ・寄り添う戦略 (調整中)
<p>コーディネータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 東海大学 情報通信学部 経営システム工学科 准教授 西口 宏美 氏 ◆ 日本電気(株) サプライチェーン統括本部 マネージャー 百川 裕希 氏

第2分科会 「人財力」～伝承と改革～

時代は変化しても企業の本質は人であるという信念のもと、今後産業界の中心となっていく次世代へ技術・技能を時代に即した形で如何に伝承していくか、人財を最大限活用して生産性改革を実現するかは、今後の事業運営に大きく関わってくる。

本分科会では、日本の優れた技能の伝承、社員のモチベーション向上への取り組み、次世代の働き方を見据えた人材育成の取り組み等々、本質的な価値向上に向けた多面的・革新的な取り組みを学び、最先端の仕組みを追求する。

9:30～10:30	<p>「グループ全体で進める実践的 I E 人財育成」 ～ライセンス制度も取り入れた階層別 I E 教育～</p> <p>(株)東芝 技術・生産統括部 モノづくり人財開発室 室長 高田 淳氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東芝グループ全体施策としての I E 人財育成 ・社内製造現場を活用した実践的教育 ・研修後の実践を含めた資格認定制度
10:45～11:45	<p>「製造現場力向上に向けて」 ～組織で成果を出す人財の育成～</p> <p>フタバ産業(株) 製造本部 理事・生産支援部長 兼 ものづくり研修センター センター長 加藤 進一氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割認識の大切さ ・一貫した研修内容 ・職場のフォロー
コーディネータ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新日鐵住金(株) 交通産機品事業部 製鋼所 技術・品質保証部 システム・I E 企画室 田村 豊氏 ◆ K Y B(株) 生産本部 生産企画部 専任課長 石原 浩司氏
11:45～13:00	<p>昼食休憩</p>
13:00～14:00	<p>「仕事の質を高める『働き方改革』」 ～働きやすい、やりがいのある会社を目指して～</p> <p>S C S K(株) 理事・人事グループ 副グループ長 小林 良成氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康を重視した経営 ・長時間労働を前提とした働き方からの転換 ・「働き方改革」で目指すもの
14:15～15:15	<p>「I C T (情報通信技術) 活用による匠の工程管理」</p> <p>東洋紡(株) 敦賀事業所 生産革新室 室長 深見 拓也氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工型生産現場における安定化の取り組み ・属人的な工程管理のミエル化～標準化 ・工程管理への I C T の活用と課題
15:30～16:30	<p>「からくり改善®活用による現場力向上の取り組み」 ～自ら改善できる人材の育成～</p> <p>トヨタ車体(株) 生産調査部 主査 左 正昭氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内人材育成のしくみと社内階層別教育 ・からくり改善®の取り組みと、社内コンクール ・新製品開発段階からの T P S 活動
コーディネータ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授 皆川 健多郎氏 ◆ (株)リコー 生産本部 生産統括センター 生産企画室 企画1グループ リーダー 亀治中 裕之氏

第3分科会 「シン・現場力」～革新を続ける現場のちから～

Industry4.0をきっかけに、世界中で、モノづくりのパラダイムシフトが加速している。「よりよいプロダクトを適正なコストで実現する」という現場の本質は変わらないが、プロセスの高度化とバリューチェーン全体の最適化が、ますます重要になってきている。

本分科会では、これまでの現場活動の中で培われた優れた「真」のIE活動を、さらに「深」く追求し、IoT、AR、AI、Roboticsなどの技術要素を活用した「新」たな取り組み事例を紹介することにより、この環境の変化にさらに一歩踏み出した「シン・現場力」への糸口を掴んでいただく。

「日立大みか事業所 IoTを活用した生産改革の取り組みご紹介」

(株)日立製作所 大みか事業所 制御プラットフォーム統括本部
IoTシステム設計部 シニアコンサルタント **大津 英司 氏**

9:30～10:30

【ポイント】

- ・制御装置の生産に実際に運用されているIoTを活用した高効率生産モデル工場の『見える化』⇒『分析』⇒『対策』循環システム。設計情報を有効活用した生産現場におけるIoT活用方法の勘所、構築プロセスでの取り組み、及び、ソリューション化状況

「レンゴーが目指すIoT」 ～IoTを活用した段ボール工場の省エネ～

レンゴー(株) パッケージング技術開発本部 本部長 **衣斐 康二 氏**

10:45～11:45

【ポイント】

- ・エネルギー監視と製造記録から品種毎の原単位を抽出
- ・抽出した原単位の特異点の原因分析
- ・平準化による段ボール工場の省エネ

コーディネータ

- ◆ 北日本電線(株) 電線事業部 製造部 保全グループ リーダー **齋藤 浩二 氏**
- ◆ NECエナジーデバイス(株) 事業支援部 マネージャ **入江 誠 氏**

11:45～13:00

昼食休憩

「中期生産台数達成に向けたネック工程(建設機械フレーム)設備能力改善」～設備可働率アップと溶接ひずみ低減による加工時間の短縮～ **ヤンマー建機(株)**

製造部 溶接課 **末松 祐一 氏** / 生産技術部 生産技術課 **水町 伸次 氏**

13:00～14:00

【ポイント】

- ・加工工具の改善・加工機械の汎用化による無人運転の確立
- ・溶接方法改善による溶接ひずみの低減・寸法精度向上へ向けた取り組み
- ・切削工具改善による段取り時間の短縮

「初めて挑戦したIE手法による生産性改善活動で実感できたこと、 獲得したこと」～主力製品の3年後の収益維持を狙って～

北日本電線(株) 光デバイス事業部 **上遠野 裕崇 氏**

14:15～15:15

【ポイント】

- ・日本IE協会講師との主力製品生産性向上活動
- ・ビデオ分析による現場に潜むムダの見極め
- ・活動の成果と今後の進め方

「工場デジタル化によるカイゼン倍速化」 ～GE日野工場 Brilliant Factory の挑戦と取り組み～

GEヘルスケア・ジャパン(株) 製造本部 本部長・工場長 **藤本 康三郎 氏**

15:30～16:30

【ポイント】

- ・デジタルツールを生かして改善を倍速化。リーン、ブリリアントファクトリーの「カルチャー」を推進、GE450工場をリード
- ・どのように推進しているのかを日野工場での事例を用いて、紹介

コーディネータ

- ◆ 豊田合成(株) 生産管理部 主監 兼 生産調査室 室長 **小笠原 慎一 氏**
- ◆ UDトラック(株) Operations VPS **千本 繁幸 氏**

第4分科会 「拡がるIE」～連携団体セッション～

9:30～10:30	<p>「リアルなデジタルで勝ちに行く“IVRA-Next”」 ～“つながる工場”と“ゆるやかな標準”～ (一社) インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ 副代表幹事/ビジネス連携委員長 西村 栄昭氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本的ものづくりの強み、エッジ側にあるリアルなデータ ・ IEとIoTの出会いによる、あらたな世界の出現 ・ 3年間で60以上の実証実験による“つながる工場”への挑戦
10:45～11:45	<p>「Service System の変遷から見るサービス・ロボットの普及促進」 千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科 教授 三原 康司氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術進歩によるService Operation Systemと Service Delivery Systemの変化から、今後のサービス・ロボットを普及させるポイントを考察する
コーディネータ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 城西大学 経営学部 マネジメント総合学科 准教授 木内 正光氏 ◆ (株)イカイプロダクト 管理部 人財企画室 係長 牛木 稔行氏
11:45～13:00	昼食休憩

第4分科会 「拡がるIE」～業種を超えたIE活用～

国内外のグローバル化への対応、持続可能な経営の実現、環境対策など事業経営に求められる課題は日々刻々と変化をしている。生産性向上や品質改善、リードタイム短縮などを得意とするわが国の産業界ではこれら経営課題に果敢にチャレンジし続けているが、このような環境下、お客さま視点までを含むバリューチェーンにおける新たな価値への気づき、イノベーションが必要になっている。
 本分科会では、製造業にとどまらず新たな発想から“価値の創生”を実践している幅広い分野での取り組みを紹介し、より一層のIEの拡がりを提案していく。

13:00～14:00	<p>「本当の働き方変革」 ～あなたの会社を変える“働き方変革”の極意を伝授～ (株)内田洋行 経営企画統括部 第三企画部 部長 矢野 直哉氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ変えるのか。働き方変革の理論 ・ 何を目指すのか。160社のコンサル事例 ・ どうやるのか。自社実践のポイント
14:15～15:15	<p>「旅館業における生産性向上と働き方改革」 ～休めない職場からの脱却、旅館業で週休2日を実現～ (株)グランディア芳泉 代表取締役専務 山口 賢司氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス生産性の理解 ・ 現場スタッフの労務管理 ・ 現場作業の改善
15:30～16:30	<p>「RFID技術の利用による庫内作業時間低減の実現」 ～無人棚卸ロボットの開発、現場導入とその効果～ 富士物流(株) ロジスティクス技術部 部長 佐藤 一典氏</p> <hr/> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物流現場でのRFID技術の利用に取組み、社内10箇所以上の現場へRFIDシステムを導入 ・ 物流現場での労働力不足対策として本来付加価値を生まない棚卸作業の無人化を目指し、RFID技術を利用した棚卸ロボットを開発。2016年には3号機を現場で運用開始
コーディネータ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 太平洋工業(株) 生産企画センター 生産調査室 主査 村瀬 仁氏 ◆ 富士通(株) テクノロジ&ものづくり事業本部 事業推進統括部 マネージャー 岩見 豊氏

コース	訪問先・事業所／所在地	テーマ・内容／主製品
A	(株)日立製作所 大みか事業所 <所在地> 茨城県日立市大みか町5-2-1	I o T活用による生産工程の全体最適化 設計・製造ノウハウを含む多種多様なシステムの情報をつなぎ、現場を可視化することにより部分最適から全体最適への改革を推進。多品種少量生産工場の生産改革を追求。 【製品】 電力・交通・鉄鋼・上下水・産業などの社会インフラシステム
B	日産自動車(株) 追浜工場 <所在地> 神奈川県横須賀市夏島町1	Alliance Production Wayをベースとした改善活動 「お客さまにとっての付加価値」をキーワードに同期生産を展開。限りなくお客さまへの同期をめざし、限りなく課題の顕在化によるモノづくり改革を展開。 【事業】 車両組立工場の見学
C	NECプラットフォームズ(株) 福島事業所 <所在地> 福島県福島市清水町一本松1-1	I o Tを活用したQCD向上 生産ラインにおける品質や稼働状況など人・設備・モノに関する情報をリアルタイムに見える化・分析し、QCDを強化。 【製品】 無線通信機器や放送機器など
D	東芝キャリア(株) 富士工場 <所在地> 静岡県富士市蓼原336	見える改善が連鎖する風土づくり「カイレンド道場」 東芝グループでのIEインストラクター教育制度など、IE人材の育成体系と、東芝キャリアでの「カイレンド道場」、「改善活動」について紹介。 【製品】 店舗・オフィス用・家庭用エアコン、ヒートポンプ給湯機
E	KYB(株) 相模工場 <所在地> 神奈川県相模原市南区麻溝台1-12-1	LT50活動を通じたモノづくり・人づくり 会社方針であるLT50活動の一環として進めてきた仕入れ先から出荷までの物流の中に潜むムダを排除する地道な取り組みの一端を紹介。 【製品】 産業用・航空機用油圧機器など
F	キリンビール(株) 横浜工場 <所在地> 神奈川県横浜市鶴見区生麦1-17-1	キリンビールの多様性推進とキャリア形成 女性技術者のトップランナーとして様々な経験をしてこられた神崎夕紀工場長による講演を予定。女性リーダーの育成方針としての“前倒しのキャリア形成の取り組みなどを紹介。 【製品】 ビールなど
G	(株)崎陽軒 横浜工場 <所在地> 神奈川県横浜市都筑区川向町675-1	製造現場の生産性向上とロス削減への取り組み 若手社員を中心にチームを組み、現場の問題・課題を洗い出し、QC手法を用いた改善活動の事例を紹介。不良削減だけでなく、改善の結果、検品時間を減少させることで、生産性向上も同時に達成。 【製品】 シウマイ、弁当
H	(株)ブリヂストン 那須工場 <所在地> 栃木県那須塩原市上中野10	ITを用いた標準化データの収集と活用 よいモノを標準通りに作り、標準通りに流せる「スラク生産」を展開。現場の3標準（作業・プロセス・設備）をベースに、「標準化型改善」と「目標型改善」の2つのアプローチで改善を実施。 【製品】 乗用車用タイヤ、二輪用タイヤ
I	東京地下鉄(株) 綾瀬車両基地 <所在地> 東京都足立区谷中4-4-9	安心・安全を支える車両メンテナンス・改善活動 車両の仕様や検査深度の違いによる検査工数を考慮し効率的な検査計画、作業を実現。現場での改善活動や人材育成などを紹介。 【事業】 鉄道車両の整備
J	いすゞ自動車(株) 藤沢工場 <所在地> 神奈川県藤沢市土棚8	世界同一品質を実現する生産革新活動 小・中・大型トラックを混流ラインで生産。生産する人や工場や国が違っていても、世界中どこでも常に同じ“いすゞ品質”を保てるように生産革新活動を展開。 【製品】 小・中・大型トラック
K	三菱電機(株) 名古屋製作所 <所在地> 愛知県名古屋市東区矢田南5-1-14	I o Tの活用でスマート工場を実現する「e-F@ctory」 FAの技術力と、FAとITをつなぐ連携技術を最大限に活用。あらゆる機器や設備をI o Tでつなぎ、データを分析・活用することで、ものづくり全体の最適化を実現。 【製品】 シーケンサ、インバーター、ACサーボなど

コース	訪問先・事業所／所在地	テーマ・内容／主製品
L	(株)ミツバ 富岡工場 <所在地> 群馬県富岡市富岡1259-1	変化し続ける工場をめざす継続的改善活動の実践 2つのTPM(Total Productivity Management・Total Productive Maintenance)を両輪(W-TPM)として生産革新活動を展開。からくり、ストライクインなどをポイントに改善を実施。 【製品】 パワーシート・サンルーフ・パワーウィンドウのモーターなど
M	三菱重工業(株) 相模原製作所 <所在地> 神奈川県相模原市中央区田名3000	現場のやる気を引き出す改善活動 コスト・品質・安全を中心に現場改善活動を推進中。やらされる改善から楽しむ改善が定着。現場主体の改善活動を紹介。 【製品】 ターボチャージャー、エンジンなど
N	(株)ANA Cargo 羽田空港内 <所在地> 東京都大田区羽田空港3-1-1	航空貨物上屋(輸出入に関わる物流倉庫)におけるIE手法の生産性改善活動 ANAグループの貨物専用機および旅客機の国際線・国内線ネットワークを活用し、長年培った輸送ノウハウの強みを活かすことにより、安心・信頼頂けるロジスティックスソリューションを提供。 【事業】 航空輸送、グループ貨物事業
O	古河電気工業(株) 千葉事業所 <所在地> 千葉県市原市八幡海岸通6	生産革新活動・人材育成(調整中) (調整中) 【製品】 電力ケーブル、光関連機器、光デバイス、通信ケーブルなど
P	鹿島建設(株) 外環本線トンネル(南行)東名北工事 <所在地> 東京都世田谷区喜多見3-12	ITを活用した工事計画/施工管理の合理化・見える化(調整中) ITを活用した工事計画の合理化、および、情報共有の事例を紹介。また、施工方法の改善による合理化、納期短縮などの事例を紹介。 【事業】 トンネル工事
定員、申込状況など、ホームページをご確認ください。 <随時更新中> http://www.j-ie.com/		※ 同業種の方はお断りする場合があります。 ※ 訪問先、プログラムなど、変更になる場合があります。

情報システム/モノづくりツール展
7月25日(水) パシフィコ横浜 会議センター 3F

(株)シーイーシー

作業実績集計をもっと手軽に
作業動態分析システム「スマートロガー」

IE分析の実績集計、コストや手間でお悩みではありませんか？
スマートロガーは、スマートウォッチやスマートグラスを活用して作業実績(内容・時間)を自動集計。作業時間・動作の定量解析やムリ・ムダ・ムラの発見に活用できる管理画面もご用意しており、改善への分析工数や負荷を大幅に軽減します。

富士通(株)/デジタルプロセス(株)

デジタル生産準備を加速するVPS
(Virtual Product & Process Simulator)

富士通が提供するデジタル生産準備ソリューション「VPS」の展示を行います。
VPSは、実機の代わりに3次元デジタルデータを活用し、組立生産準備における製品レビューから製造工程検討に至る業務プロセスを一貫支援、ものづくりのQCD向上に寄与するパッケージソフトウェアです。組立検討から帳票作成までの作業を支援する「VPS MFG」と仮想ラインで工程をシミュレーションする「VPS GP4」の展示を行います。

(株)日本生工技研

作業分析ソフト
「タイムプリズム」

作業のビデオ映像を撮影したものをパソコン上で再生させながら作業分析ができるパッケージソフトです。
ムダを取ったりして作成した標準作業を動画マニュアルとして出力することができ、作業教育、技能伝承にも活用できます。

※出展申し込みなどの詳細は、日本IE協会までお問い合わせください。

出展企業 募集中



大会組織 (2018年4月1日現在)

◎大会会長

東北インダストリアル・エンジニアリング協会	会長	北日本電線(株)	取締役社長	三浦 政彦
中部インダストリアル・エンジニアリング協会	会長	トヨタ自動車(株)	アドバイザー	林 南八
関西インダストリアル・エンジニアリング協会	会長	(株)クボタ	取締役専務執行役員 生産本部長	小川 謙四郎
九州インダストリアル・エンジニアリング協会	会長	T O T O (株)	取締役常務執行役員	林 良祐
日本インダストリアル・エンジニアリング協会	会長	日産自動車(株)	取締役 副社長	坂本 秀行

◎大会副会長

(株) トーキン	代表取締役執行役員社長	小山 茂典	東洋紡(株)	生産技術統括部長	酒井 太市
大同特殊鋼(株)	顧問	岡部 道生	パナソニック(株)	執行役員 生産技術本部長	小川 立夫
大同メタル工業(株)	代表取締役会長 兼 最高経営責任者	判治 誠吾	トヨタ自動車九州(株)	専務取締役	横井 秀司
(株) デンソー	顧問	土屋 総二郎	日産自動車九州(株)	代表取締役社長	荒井 孝文
トヨタ自動車(株)	副社長	河合 満	(株) 安川電機	取締役常務執行役員	南 善勝
日本特殊陶業(株)	常務執行役員	石田 昇	(株) 東芝	執行役上席常務	斉藤 史郎
オムロン(株)	執行役員常務 グローバルものづくり革新本部長	吉川 浄	日産自動車(株)	常務執行役員 日本生産事業本部 本部長	本田 聖二
(株)神崎高級工機製作所	代表取締役社長	山岡 靖幸	NECプラットフォームズ(株)	取締役執行役員専務	大嶽 充弘
新日鐵住金(株)	交通産機品事業部 製鋼所長	小泉 智志	(株)日立製作所	執行役常務 CTO兼研究開発グループ長	鈴木 教洋
住友電気工業(株)	執行役員 生産技術本部 副本部長	戸川 契	(株)ブリヂストン	常務執行役員 生産技術管掌	細 幸彦

◎大会委員 (日本IE協会・幹事)

味の素(株)	執行役員 食品事業本部 食品生産統括センター長	川名 秀明	日産工機(株)	取締役 最高執行責任者	櫻井 亮
アズビル(株)	取締役執行役員常務 プロダクションマネジメント本部長	北條 良光	日産車体(株)	取締役社長	木村 昌平
いすゞ自動車(株)	生産企画執行担当 兼 工場長	根本 勉	日通NECロジスティクス(株)	顧問	吉村 直樹
カルソニックカンセイ(株)	常務執行役員	池田 輝久	日本電気(株)	サプライチェーン統括本部 主席主幹	長尾 政彦
鬼怒川ゴム工業(株)	代表取締役社長 執行役員	高岡 洋海	日立建機(株)	開発・生産統括本部 執行役専務 統括本部長	田淵 道文
キューピー(株)	執行役員 生産本部長	渡邊 龍太	(株)日立製作所	モノづくり戦略本部長	菅原 貞幸
K Y B (株)	常務執行役員 生産本部長	新田 仁志	日野自動車(株)	参与 兼 羽村工場長	大山 彰
芝浦メカトロニクス(株)	代表取締役社長	藤田 茂樹	富士ゼロックス(株)	執行役員 モノ作り本部長	生駒 昌章
ジャトコ(株)	常務執行役員	平山 智明	富士通(株)	テクノロジ&ものづくり事業本部長	瀧澤 健
信越化学工業(株)	代表取締役 副会長	秋谷 文男	(株)ブリヂストン	生産技術戦略本部長	根岸 博一
新日鐵住金(株)	常務執行役員	安藤 豊	三菱電機(株)	常務執行役 生産システム本部長	大西 寛
東芝テック(株)	執行役員 生産・調達・SCM統括センター長 全社生産統括責任者	山口 直大	UDトラックス(株)	シニアバイスプレジデント	酒巻 孝光
東芝ロジスティクス(株)	取締役社長	佐藤 広明	横浜ゴム(株)	常務執行役員 タイヤ国内生産本部長 兼 タイヤ生産技術本部長	中野 茂
凸版印刷(株)	常務取締役 製造統括本部長	山野 泰彦	(株)リコー	常務執行役員 生産本部長・CT&P本部長	西宮 一雄

◎大会実行委員長

日本インダストリアル・エンジニアリング協会 常任幹事・運営委員長 矢野下 卓夫

◎大会実行副委員長

NECエナジーデバイス(株) 代表取締役社長 澤村 治道
日本インダストリアル・エンジニアリング協会 事務局次長 兼 グループマネージャー 島田 豊

◎大会実行委員

(株) I H I	技術開発本部 主査	領家 大和	日産工機(株)	品質保証部 課長	関谷 隆幸
味の素(株)	食品生産統括センター IE技術グループ マネジャー	岩渕 哲郎	日産自動車(株)	生産企画統括本部 APW推進部 APW推進グループ 課長	櫻井 智則
アズビル(株)	プロダクションマネジメントセンター グローバル推進部 マネージャー	根本 政幸	日産車体(株)	生産統括部 生産管理グループ 主管	杉崎 憲一
(株)イカイプロダクト	管理部 人財企画室 係長	牛木 稔行	(公財)日本生産性本部	コンサルティング部 プロデューサー	佐藤 裕士
いすゞ自動車(株)	IM推進部 TH6 プロフェッショナルスタッフ	本田 慎司	日本電気(株)	サプライチェーン統括本部 マネージャー	百川 裕希
NECエナジーデバイス(株)	事業支援部 マネージャー	入江 誠	日立建機(株)	生産・調達本部 生産技術センター インフラ施設課 主任	稲垣 洋平
鹿島建設(株)	エンジニアリング事業本部 課長代理	井口 慧士	(株)日立製作所	モノづくり戦略本部 生産技術強化推進部 担当部長	西村 貞之
カルソニックカンセイ(株)	日本リージョン本部 生産・物流管理部	板羽 潤	日野自動車(株)	羽村工場 工務部 工場管理室 主査	小椋 武志
鬼怒川ゴム工業(株)	グローバルモノ造り革新推進部 シニアスタッフ	青木 敬徳	富士ゼロックス(株)	モノ作り本部 生産準備統括部 XPW推進グループ長	鈴木 邦良
キューピー(株)	生産本部 生産技術部 チームリーダー	降旗 幸太郎	富士通(株)	テクノロジ&ものづくり事業本部 事業推進統括部 マネージャー	岩見 豊
K Y B (株)	生産本部 生産企画部 専任課長	石原 浩司	(株)ブリヂストン	生産改革推進部 工場設計ユニットリーダー	田中 博康
ジャトコ(株)	JEPS推進課 プロフェッショナルスタッフ	高田 直人	三菱電機(株)	執行役員 人事・情報システム担当	平賀 康明
小規模モノづくり研究会	理事	狩野 明芳	三菱電機(株)	生産システム本部 生産技術部 次長 生産性推進グループ マネージャー	大谷 真博
新日鐵住金(株)	標準化推進部 ものづくり基盤推進室長	若木 明徳	三菱電機(株)	生産システム本部 生産技術部 生産性推進グループ 専任	久世 英隆
新日鐵住金(株)	標準化推進部 ものづくり基盤推進室 主幹	川上 大	UDトラックス(株)	Operations VPS	千本 繁幸
(株) 東芝	技術・生産統括部 モノづくり人財開発室 参事	若林 伴実	横浜ゴム(株)	タイヤ生産技術部 生産技術企画グループリーダー	浅野 睦喜
東芝テック(株)	生産企画部 DFM推進担当 参事	岸田 敦司	(株)リコー	生産本部 生産統括センター 生産企画室 企画1グループリーダー	亀治中 裕之
東芝ロジスティクス(株)	物流改革推進部 企画担当 参与	脇田 哲也	Y P S	代表	網野 佐太雄
凸版印刷(株)	製造統括本部 品質技術部 部長	広田 守一			

申込要領・参加費

- ◆ 申込書にご記入の上、FAXにて送信ください。またはホームページからお申込み可能です。
- ◆ 正式受付について
 - ・講演会・分科会は、お申込み時点で正式受付となります。
 - ・現場研修会は見学先への確認および人数調整後、正式受付となります。都合により1コースあたりの人数調整をお願いする場合があります。各コースとも定員になり次第締め切らせていただきます（先着順）。
- ◆ 参加証について
 - ・講演会・分科会は、参加者のメールアドレスへ送信いたします。
 - ・現場見学会は、6月上旬から確定次第、申込責任者へ郵送いたします。
- ◆ 請求書について
 - ・請求書は、6月上旬から順次、申込責任者へ郵送いたします。

**6/1まで早期割引
実施中です！**

参加費（1名/税込）※1		法人会員 協賛・後援団体※4	一般 (非会員)	学識者、個人会員 アカデミー会員
1日目～2日目 参加	通常価格	34,020円	42,120円	15,120円
	早期申込割引価格※2	30,640円	37,930円	同上
1日目～3日目 参加	通常価格	45,900円	54,000円	27,000円
	早期申込割引価格※2	37,930円	48,600円	同上

※1 参加費には、資料代、7/24交流会、7/25昼食代を含みます。

※2 早期申込割引は、6/1までにお申込みの場合です。

※3 現場研修会のみのお申し込みはお受けできません。

※4 協賛・後援団体に所属する方々、会員の方々、ご紹介を受けた方々が対象です。

■キャンセルについて■

正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方のご出席をお願いします。

代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

キャンセルは、必ず、E-mailまたはFAXにて日本IE協会までご連絡ください。

- 開催日の7営業日前～2営業日前 : 参加費の50%
- 開催日の1営業日および当日 : 参加費の全額（料金のご返金はできません）
- 悪天候や当協会の都合により開催が中止の場合：キャンセル料の発生はありません（参加費全額をご返金いたします）

【会場案内】パシフィコ横浜 会議センター



【交通案内（代表例）】

- みなとみらい線
みなとみらい駅より徒歩8分
- JR線・市営地下鉄
桜木町駅より徒歩20分

**お申込み
お問い合わせ**

日本IE協会

〒102-8643 東京都千代田区
平河町2-13-12
生産性本部ビル

TEL : 03-3511-4062

FAX : 03-3511-4069

E-mail : jiie@j-ie.com

WEB : <http://www.j-ie.com/>

第59回 全国 I E 年次大会 参加申込書 / 日本 I E 協会 行 (FAX: 03-3511-4069)

※ 参加者および申込責任者が下記の「個人情報の取扱いについて」に同意した上で申込みます。

会員区分	東北 I E 協会・中部 I E 協会・関西 I E 協会・九州 I E 協会・日本 I E 協会				協賛・後援 ()、紹介 ()、一般	
会社名			事業所			
所在地	〒	電話	FAX			
申込責任者	フリガナ氏名			所属	役職	
	E-mail					
フリガナ参加者氏名	所属・役職・E-mail		参加日程		聴講される分科会をご記入ください (複数可)	現場研修会 (コース名)
			1~2日目	1~3日目		

- 個人情報の取扱いについて ■ ※日本 I E 協会と (公財) 日本生産性本部は、2011年4月に事業統合しました。
- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財) 日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財) 日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財) 日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojinjoho.html>) をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
 - 個人情報は、『日本 I E 協会』の事業実施に関わる資料などの作成、ならびに日本 I E 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
 - 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
 - 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
 - ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本 I E 協会 (会員担当: 連絡先 TEL03-3511-4062) または (公財) 日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口 (TEL03-3511-4003) までお問合せください。【責任者: 個人情報保護管理者 (総務部長)】
 - お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本 I E 協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
 - 本案内記載事項の無断転載をお断りします。

日本インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会 (担当事務局)

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 生産性本部ビル
 TEL: 03-3511-4062 FAX: 03-3511-4069 E-mail: jiie@j-ie.com <http://www.j-ie.com/>

東北インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会

〒980-0004 仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所会館7階
 TEL: 022-261-0411 <http://www.t-productivity-ce.jp/ie/>

中部インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階
 TEL: 052-221-1261 <http://www.cpc.or.jp/ie/>

関西インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階
 TEL: 06-6444-6464 <http://www.kpcnet.or.jp/kiie/>

九州インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6階
 TEL: 092-771-6481 <http://qpc.or.jp/>